

# 西おきたま 米づくり情報 No.7

令和6年6月21日  
西置賜農業技術普及課

## 今すぐほ場を確認！

## 有効茎数を確保した圃場から、遅れず作溝・中干し！ 茎数が少ない場合は、茎数確保を最優先！

この10日間の好天で稲の葉数は2枚程度進み、茎数が急増しています。有効茎数を確保した圃場から、遅れず作溝・中干しを行い、穂肥のできる稲姿に仕上げましょう。一方、茎数不足のほ場がみられます。6月中の有効茎確保に向け、昼間止水・夜間かんがいを徹底し、浅水管理（水深2～3cm）で分けつを促進しましょう。また、高温でワキの発生がみられる場合には水交換や田干しを行いましょう。

### 生育状況（6月20日現在、西置賜農業技術普及課生育診断圃）

#### 平坦部「はえぬき」の生育

項目	飯豊町		概況 (平年値との比較)
	調査値	平年比・差	
草丈(cm)	36.2	94	短い
茎数(本/m <sup>2</sup> )	399	90	少ない
葉数(枚)	8.4	±0.0	平年並み
葉色(SPAD)	42.0	-0.3	平年並み

#### 「つや姫」の生育

項目	飯豊町		概況 (平年値との比較)
	調査値	平年比・差	
草丈(cm)	40.4	109	長い
茎数(本/m <sup>2</sup> )	452	99	平年並み
葉数(枚)	8.3	-0.2	平年並み
葉色(SPAD)	42.2	+0.2	平年並み

#### 「雪若丸」の生育

項目	飯豊町		概況 (指標値との比較)
	調査値	指標比・差	
草丈(cm)	32.7	92	短い
茎数(本/m <sup>2</sup> )	518	88	少ない
葉数(枚)	9.1	-0.1	平年並
葉色(SPAD)	45.9	-3.2	やや淡い

#### — 1か月予報（6月20日仙台管区气象台発表） —

気温：6/22～6/28：高い見込み

6/29～7/5：高い見込み

7/6～7/19：高い見込み

降水量：平年並み～多い見込み

日照時間：平年並み～少ない見込み

## 有効茎数確保後は、直ちに作溝・中干しを開始！

○穂肥の前に、生育を制御、根張りの促進を図り穂肥が **品種別の目標茎数の目安（本/株）** しっかり行える稲姿にしましょう。

○6月中の中干しによる直下根の発生が、出穂後の高温対策として有効です。

○目標茎数の8～9割に達したら、遅れずに中干し・作溝を実施しましょう。

○中干しの目安はほ場に小ヒビが入る程度ですが葉色や生育量に応じて中干しの強度（乾き具合）を調節します。

○中干し後は、走水で飽水管理をした後に徐々に間断かん水（2日湛水・2日落水）に切り替えます。

品種	1株当たりの目標茎数	
	70株/坪植えの場合	
はえぬき	23本	
つや姫	20本	
雪若丸	27本	
ひとめぼれ	24本	
あきたこまち	22本	
	60株/坪	70株/坪
コシヒカリ	23本	20本

作溝の効果：間断かんがいの効率化 → 根の活力維持、地耐力の向上

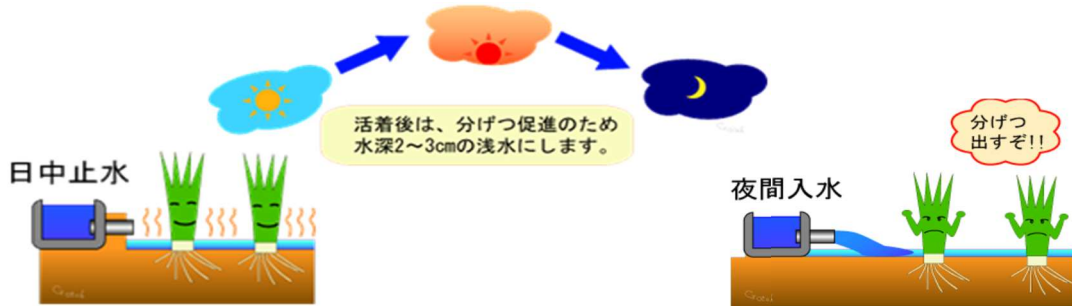
作溝は、高温時の水管理“飽水管理”にも有効

中干しの効果：無効分けつの抑制、根の健全化、受光体勢の良化 → 登熟向上

## 茎数が不足しているほ場は茎数確保を優先！

○茎数が不足しているほ場では、引き続き以下の2つの管理で分けつを促進し、6月中に有効茎数を確保するように努めましょう。

① 浅水管理（水深2～3cm） ② 昼間止水・夜間かんがい



○土壌の還元が進んでいるほ場がみられます。異常還元（ワキ）で、生育が停滞し、葉色が低下しているほ場では、速やかに水の交換や一時的な落水（2～3日の田干し）を行います。茎数が不足している場合は、水交換または夜間のみの落水とします。

○除草剤散布後7日間は落水せず必ず止水としてください。

## 取り置き苗で葉いもち確認！早期発見・早期対策を！

○補植用取り置き苗で葉いもちの発生が確認されています。ほ場に残っている場合は、速やかに撤去しましょう。

○穂いもちを抑える一番の対策は、葉いもちを発生させないことです。ほ場をよく観察し、早期発見・早期防除を心掛けましょう。



葉いもちの病斑

## 斑点米カメムシ類の発生がやや多い！（県病害虫防除所予察情報）

○畦畔・農道、雑草地の除草（草刈り）を地域ぐるみで行い、地域全体の斑点米カメムシ類の生息密度を下げましょう。

○水田内のイヌホタルイやノビエはアカスジカスミカメの発生源になります。残草対策もしっかり行いましょう。



アカヒゲホソドリカスミカメ

アカスジカスミカメ

## 農作業事故と熱中症に要注意！ 声をかけ合い農作業事故ゼロへ！

複数人での作業実施、施設や道具の点検、転落防止のための対策などを徹底しましょう。また、こまめな休憩と水分・塩分補給。ゆとりをもった無理のない作業を心掛けましょう。

山形県農薬危害防止運動 実施中！ 農薬使用の際は使用基準を再確認！